

# 岐阜県エコツアーリズム連携会議 第11回川と山のぎふ自然体験活動の集い 報告書

2015年1月31日（土）、2月1日（日）

於 岐阜県立森林文化アカデミー

## 目 次

実施要項	2-5
実施記録	6-10
アンケート結果	11



# 岐阜県エコツーリズム連携会議

## 第11回川と山のぎふ自然体験活動の集い

### 実施要項

■テーマ岐阜のいいもの森・人・文化を生かす交流会

## 体験ジャム

～みんながゲストでみんなが参加者～

■日時：2015年1月31日（土）、2月1日（日）

■場所：岐阜県立森林文化アカデミー（岐阜県美濃市曾代88）

■参加料：1,000円（資料代、保険料など）

■主催：川と山のぎふ自然体験活動の集い実行委員会

入江鐵夫（行灯工房）、小野 敦（ぎふ森林づくりサポートセンター）

川尻秀樹（森林インストラクター岐阜）、北川健司（特定非営利活動法人エヌエスネット）

田村 明（朝日大学）、萩原裕作（岐阜県立森林文化アカデミー）

山田 俊行（特定非営利活動法人白川郷自然共生フォーラム）

■共催：岐阜県立森林文化アカデミー

■お申込み・お問合せ

川と山のぎふ自然体験活動の集い実行委員会事務局

特定非営利活動法人エヌエスネット内 担当 高屋

〒501-8141 岐阜市月丘町5-13

TEL. 058-249-1166 FAX. 058-248-4722 E-mail : [nature@odss.co.jp](mailto:nature@odss.co.jp)

## 第1日目(12月1日)

● 受付 9:00～

会場:森の情報センター

- ◎ **開会式** 10:00 進行:田村 明(朝日大学)
- ◎ **全体会・ワークショップ** 10:10～12:00 コーディネーター:萩原裕作(岐阜県立森林文化アカデミー)  
3人グループで話し合い \*ローテーションします。
- ◎ **体験交流会** 13:00～17:00 コーディネーター:田村明(朝日大学)、萩原裕作(岐阜県立森林文化アカデミー)  
テーマ:<食べる>・<ものづくり>・<自然体験>・<企画づくり>・<暮らし>等
- ◎ **和太鼓演奏** 18:00～ 加藤拓三(スタジオぬくもりの森)
- ◎ **情報交換会(夕食)** 18:30～

### 主なゲスト(予定)

赤尾友和(森林インストラクター・庭師、自然体験工房NENO、中津川市)

浅野太郎(浅野鍛冶屋、羽島市)

石井 学(木工家、AC CRAFT 美濃市 )

岩井香織(木工家、IWAI工房 美濃市)

加藤拓三(太鼓奏者、「スタジオぬくもりの森」 恵那市)

春日住夫(養蜂業、春日養蜂 垂井町)

小林謙一(NPO法人ななしんぼ、郡上市)

近藤紳二(ツリークライミング 犬山市)

庄司正昭(「もりにわくらし」、美濃市)

田口由加子(「ガッタンゴー!!」、飛騨市)

辻 晃一(紙を創る会社、丸重製紙企業組合、美濃市)

所 益丈(小屋番、白水湖ロッジ 白川村)

羽瀨雅子(人と人をつなぐひと、関市)

平工顕太郎(長良川船頭、「結の舟」 岐阜市)

平井和子(林業に関心のある女性、「林業女子会@ぎふ」、美濃市)

廣瀬 恵(「リトルスター」、大垣市)

福島計一(教育工房IPPO)

藤村 誠(パン屋さん、「ベッカライ フジムラ」店主)

前西千寿香(グリーンウッドワーク協会、竹部会、美濃市)

横山太一(「やまがた舎」 山県市)

\* 五十音順

第2日目(12月2日)2／1(日) ※ 自由参加

現地体験交流会 9:00～

- 平工顕太郎(「結の舟」) 岐阜市長良
  - ・横山太一(「やまがた舎」) 山県市
  - ・永吉 剛(「猪鹿庁」) 郡上市大和町
  - ・春日住夫(「みつばち村」) 垂井町
  - ・庄司正昭(「パーマカルチャー」) 関市洞戸
  - 小林謙一(「ななしんぼ」) 郡上市明宝
  - ・浅野太郎(浅野鍛冶屋) 羽島市
  - 石井 学(「ACクラフト」)美濃市
  - 岐阜市で長良川下り(長良橋からお紅まで)  
平工顕太郎(長良川船頭、「結の舟」)
  - グリーンウッドワークで「森の色鉛筆づくり」  
小野 敦 於 森林文化アカデミー
  - 竹編み講座「鍋敷きづくり」  
前西千寿香(グリーンウッドワーク協会・竹部会)  
於 森林文化アカデミー
  - 美濃市散策 辻 晃一(丸重製紙)
- ※○印は内容決定プログラム

# 実施記録

## 第1日目

### 全体会・ワークショップ

コーディネーター：萩原裕作（岐阜県立森林文化アカデミー）

#### アイスブレイク

自己紹介 + 握手でカウント1・2・3（見つめ合い、心を合せることができるかな！？）

#### 参加者の系統分け

アウトドア系、ものづくり系、アート系、インタープリター系、

子ども系、行政系、妖精系、その他、に分かれ、それぞれ色違いのバンダナを付ける

#### ワークショップのルール

1. 各々が、①自分の系統、②最近ハマっていることや特技、③課題や困っていること、④今後やりたいこと、をA5用紙に書き出す。
2. 違う系統の3人が1組となり、それぞれの①～④をきっかけとして、『どんな商品や企画が生み出せるか』についてアイデアを出し合う。『妄想』を具体的に形にする。

#### 提案された商品・企画一覧

- ナイトレイル行灯パーティ（ドキドキ感が増す婚活イベント）
- 若返りキャンプ（自然のなかで飲み会！漢方で翌朝元気！）
- 空き家コミュニティカフェ（家さがしの場、森のようちえんの場、活動を広報する場）
- 岐阜を巡るマイプレートツアー（木の器を手作り→持って巡る→岐阜の特産を食す）
- 老人から子どもへ知識の伝承（林業の大切さ、川遊び、昔の道具の使い方）
- ドキッ！露天風呂で混浴！おいしいお酒とジビエもあるよ（利き酒、ドラム缶個室等）
- 竹のスタードーム（つる性植物栽培（猿に取られない）、手作りアート・玩具を楽しむ）
- お茶のようちえん駅（施設はなく自然で自由に遊ぶ。いずれは地元野菜などを提供）
- 耳をすませば…鍛冶屋のガッタンゴ（レール凹まし、音を楽しむ。音楽映画の撮影）
- 倒して彫って木舟づくりキャンプ（1か月間にわたる協働作業）
- 東白川村で縄文キャンプ（石オノと鋸の違い体験、お神酒づくり体験等）
- 木の上のクマのレストラン（クマと一緒に蜂蜜やステーキを食べる。欧州の人向け）
- ニワトリを飼う道の駅（飼う人の暮らしぶりも一緒に展示する）
- 森の音楽療法（都会の低周波から逃れてのんびり長期滞在。木の楽器づくり体験等）
- 特技を持ち寄る人材バンク（御用聞きにも行くよ！報酬は物々交換でも可）
- おじいおばあキャンプ-森の老人ホーム-（炭焼き・味噌づくり、自由な遊び）
- 白川町へおいでよ！幻の鯉の滝昇りでとろけるKOIしたい！（NIPPONの秘境へクル〜）
- 竹細工×柿渋×お茶（掛け合わせてお金をかせぐ！？）
- 体と心のリハビリをつくる野外作業療法（蜜蝋とクラフト）
- 限界集落で地域の祭り体験プログラム（空き家の活用、土器型クッキーづくり）
- 何でも戦わせるコロシウム（ネズミ vs ムカデ等。予告をネットで流して人を呼び込む）

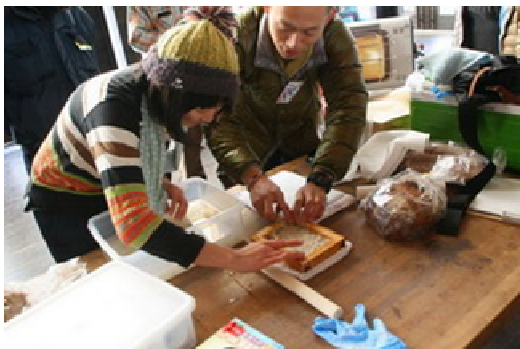


## 体験交流会

コーディネーター：田村明（朝日大学）、萩原裕作（岐阜県立森林文化アカデミー）分科会

### <紙とパンのコーディネーション>

講師：辻 晃一（丸重製紙）、藤村 誠（ベッカライ フジムラ）



紙の繊維にパン粉をまぜ漉く



焼きあがった<紙パン>



パンの味がするが、噛んでみると紙



紙の繊維が混じったパン これは食べられる

### <グリーンウッドワークと鍛冶のコーディネーション>

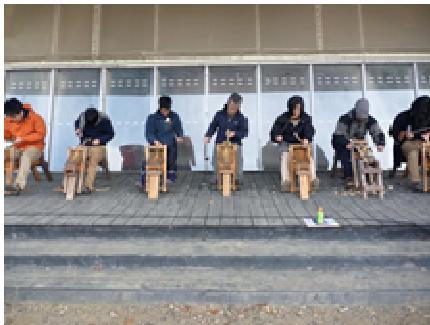
講師：小野 敦（グリーンウッドワーク協会）、浅野太郎（浅野鍛冶屋）



釘からハンガーの取っ手を打ち出す



鍛冶浅野太郎さんの技



「削り馬」で生木を加工



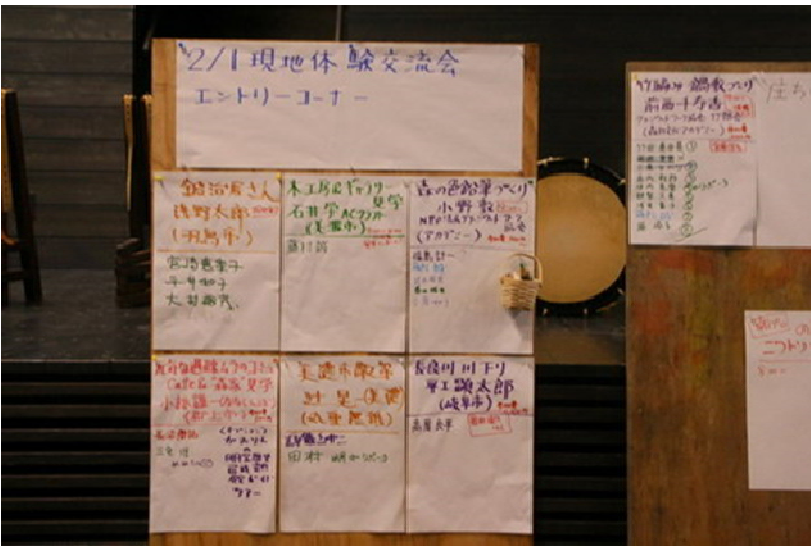
手作りハンガーの完成

# 全体会

## 振り返り



## 2日目の現地体験交流会参加募集



## 和太鼓演奏

加藤拓三（スタジオぬくもりの森）

雑然とした会場の情報センターのステージが片づけられ太鼓奏者の加藤拓三さんが登場。少し間をおいてバチが太鼓めがけて振り下ろされる。一瞬の静寂を破って太鼓の音が参加者の腹の底に響く。そして一気に聴衆の心をつかみ取る。聴衆と一緒に駆ける。今度は笛。心に占める音色だ。9.11の時ニューヨークにいて太鼓演奏で何ができるかを考えたこと。そして地域の家々をまわり 1000 回公演を果たしたこと。お話も心に響く。世界を駆け巡っているにもかかわらず地域に根差している。国内外の素晴らしい評価を得ながら、舞い上がっていない。その誠実さが話の端々からうかがわれる。今度はバイオリンをとりだした。最近始めたといつて引き始めた曲が「キラキラ星」。音色はまるでゴーシュのセロ。でもなんだか暖かい。しかし、これは「つかみ」。弦を外しての演奏は今まで聞いたこともない「一人オーケストラ？」根っからのミュージシャンであることがわかる。改めて太鼓演奏について。聴衆の手拍子足拍子をさそって会場が一体になって盛り上がる。「わっ、はっ、はっ」、「あ、り、が、と、うっ」。そのまま太鼓のリズムになだれ込む。知らないうちに子どもたち（参加者が連れてきた子ども）が踊っている。あっという間に時間がたち、最後は「アンコール！」の声にこたえて一曲。わずか 30 分たらずの時間でしたが、濃密なひと時でした。気づいたら私はすっかり「拓ちゃん」のファンになっていました。

加藤拓三さんよくぞこの「川と山の集い」に来ていただきました。加藤さんを紹介していただき今日のお会をつくっていただいた入江さん、ありがとうございました。「<岐阜の本物の宝物>たちが集う！」今回のテーマを象徴するステージでした。（記録者：高屋）



## 情報交換会





## 第2日目

### 現地体験交流会

#### 『元気な過疎ムラのコミュC a f e & “ 森家 ” 見学』

参加者：3名（三宅、幾島、長沼）

記録：長沼慶拓

郡上市明宝で、NPO法人ななしんぼ（地域の黒子役として地域活動をつなぐ中間支援組織）を運営している小林謙一（コバケン）さんに、いろいろとお話を伺いました。

人口約1,800人の明宝地域には、19の地域団体と3つのNPO法人があります。それらを外からつなぐ窓口として、そして中であつなぐコミュニティベースとして、ななしんぼは在ります。ときにカフェとして、レンタルギャラリーとして、工房として、地域企業の間として、地域のやりたい（＝妄想）を実現するための組織です。

詳しくは、ホームページをご覧ください（<http://nanashinbo.com/aboutus/>）。いま、ホットな話題は、明宝温泉湯星館への木質ボイラーの導入です。エネルギーの地産地消が明宝で動き出しています。

ななしんぼ副理事長のコバケンさんは、妄想を実現させた一人です。昔なら当たり前だったような地元の木を使った家づくりを通して、森と人の暮らしのつながりや、金木（広葉樹）の森づくりについて皆に考えてもらいたいという夢（妄想）を抱き、『森をつくる家づくり講座』を企画。



郡上市内に住む日本を代表するログビルダーの指導を仰ぎ、活動に共感した地域内外の講座参加者が、チェーンソーワークにより製材加工し、組み上げた『森家』を拝見しました。

本来なら住宅部材としてハネられてしまう丸太も、ログで使うには十分なものもあります。裏山の木を使うことで無駄な輸送エネルギーはかかりません。ログハウスの回りで、広葉樹の苗を育て、山に戻します。『循環、再生、ものづくり』というつながりがそこにはあります。

コバケンさんの妄想はまだまだ途中です（森家もまだ未完成）。これからもコバケンさんの、ななしんぼの、そして明宝の、夢を実現させる活動に注目です！

さて、今回、オプションとして、1日目の全体会にも参加された岩井香織さん（IWAI 工房）に、明宝歴史民俗資料館を案内していただきました。縄文土器や石器、着物、食器、家具、農業や山仕事の道具、書籍など、47,000点を越える展示物は、1つ1つに物語が感じられます。マニアには堪らない。

明宝に行く機会のある方はぜひ寄ってみてください。

## ・竹編み講座「鍋敷きづくり」

前西千寿香(グリーンウッドワーク協会・竹部会)

参加者:7名

記録:垣内 亮磨

グリーンウッドワーク・竹部会の前西さんによる、グリーンウッドワークの設立経緯説明から始まり、竹を使った鍋敷き作りを実施していただきました。

参加者は幅広いジャンルの方が集まり、個性溢れる鍋敷きができあがりました。日頃のプログラムで、竹を扱いなれている竹部会の方たちより竹の性質や、編む際の細かいコツなど解説を踏まえながら、参加者それぞれのペースに合わせて進められました。「あれ?なんで?」という声や「どうしても歪んでしまう!」などの声が漏れながらも楽しい雰囲気を取り組めました。中にはペースが速い人、遅い人それぞれいましたが参加者同士でアドバイスし合う様子も見られました。



竹を薄く裂き、編んでいく鍋敷きは想像よりもしっかりしていて、乾くとさらに頑丈になりました。普段体験することのない竹細工に参加者一人一人が満足している様子で、ふり返りでは、楽しかった、初めての体験ができてよかったなど、好評でした。

1時間30分という時間の中でのワークショップでしたが、皆さん真剣に取り組んでおり、あっという間にタイムアップという感じでした。

鍋敷き以外にも、何か楽しく作れてさらに実用的なものを作りたいと感じました。

## ・家づくり現地見学

坂本賢次(デントウを明日につなげる会)

参加者:9名

記録:幾島野枝

7:45頃現地に着き、1時間ほどをかけて説明を受けました。当たり前なのに、近年の大工さんの多くが意識しない「木は生き物」ということを大前提に、「どのように木を使うか」について、主に案内してもらいました。

山に木を見に行くところから、お客さんと家づくりを始めるそうです。普段お酒を飲んでばかりのけんちゃんからは、全く想像できない仕事の細かさ、技術、知識の多さ、考え方に参加者一同、感心し通しの1時間でした。

## アンケート結果

### <開催時期>

最適 7 適切 17 ややまずい 4 まずい 0

- ・冬は止めたほうがいい。3月頃とか。
- ・寒い 2
- ・もう少し暖かい時期がいい。
- ・冬季は動きやすい。

### <開催場所>

最適 7 適切 21 ややまずい 0 まずい 0

- ・県内の場所(地域)のローテーションもよいのでは。

### <施設>

最適 10 適切 18 ややまずい 0 まずい 0

- ・寒い
- ・素敵な場所だと思う。

### ■全体会・ワークショップ(午前)

非常に良かった 10 よかった 15 どちらともいえない 4 悪かった 0

- ・自分に興味があるとは思わなかった。
- ・良いアイスブレイクのネタができた。
- ・全部回る余裕がなくて残念
- ・新しい発想がありよかった。
- ・異業種の人との交流ができてよかった。=発想の違い
- ・やる事が理解できなかった。2回も説明してもらったのに…、ごめんなさい。

### ■体験交流会(午後)

非常に良かった 15 よかった 13 どちらともいえない 0 悪かった 0

- ・面白いコラボだと思った。
- ・和紙パン、次回が楽しみです。
- ・見ても楽しい。
- ・鍛冶屋さん・木工房ハンガーづくりよかった。
- ・色々な意見をいただき、今後仕事に活かしていきたいと思いました。
- ・釘でハンガーをつくる(鍛冶屋+木工)コラボは印象的であった。
- ・おもしろい

### ■和太鼓演奏

非常に良かった 14 よかった 1 どちらともいえない 0 悪かった 0

- ・演奏させていただき感謝しています。ありがとうございました。
- ・びっくりしました。
- ・とても力強く、感動した。
- ・プロの演奏を聴くことができよかった。語りも大変勉強になった。
- ・どえりゃあよかった。

### ■情報交換会(夜)

非常に良かった 10 よかった 2 どちらともいえない 悪かった

- ・タバコも吸えてよかった。生肉最高！！

### <全体の評価と感想>

- ・さまざまな想いで生きている方々との交流、生きている感じ、感動しました。
- ・お呼び下さった方に大感謝です！
- ・内容が濃い分、100%達成できなかったので報告をしっかりとあいたい。
- ・Good！
- ・初めての参加でとまどったが、参加してよかった。
- ・色々な面白いことをしている方が知れて良かった。
- ・いろいろな人と知りあえるというのはよかった。
- ・う～ん、すばらしい～。

### <次回への要望>

- ・楽しみにしています。 ・次回も楽しみ～
- ・告知をわかりやすく！！猪鹿庁希望してたので連絡ほしかったです。
- ・スケジュールに追われないで、ゆっくり話し合うよい機会であった。

**第 11 回 川と山のぎふ自然体験活動の集い報告書**

発行 2015 年 3 月 1 日

山と川のぎふ自然体験活動の集い実行委員会  
事務局

岐阜県美濃市俵町 2122  
株式会社アウトドアサポートシステム  
エコツーリズム事業部 内  
TEL 0575-46-9232

編集責任者 高屋 良平